

歴史に学び、未来を読む

歴史をひもとけば、新しい事実が見えてくる ー。

歴史学とは単に過去をさかのぼる学問ではなく、過去を丹念に調べ、現代と比較しつつ、未来を考える学問です。歴史とは、いわば未来への選択肢の軌跡でもあります。

今回の講座では、歴史の転換期にメスを入れ、資料的裏付けにより、大胆に史実の新しい断面を解明します。今年は大政奉還から150年。激動の幕末をテーマに、日比谷周辺の地と関係の深い井伊直弼のお話も交えながら、作家であり、テレビ、ラジオ、雑誌、新聞などでも活躍中の歴史学者、加来耕三氏にわかりやすくお話しいただきます。

講師 加来 耕三（作家）

1958年大阪市生まれ。奈良大学文学部史学科を卒業後、学究生活を経て奈良大学文学部研究員。現在は大学・企業等の講師をつとめながら、歴史家・作家として著作活動を行っている。『歴史研究』編集委員。内外情勢調査会講師、政経懇話会講師、中小企業大学校講師。また、テレビ・ラジオ等の番組監修・出演などの依頼も多い。著書に『日本史は「嫉妬」でほぼ説明がつく』（方丈社）、『卑弥呼のサラダ 水戸黄門のラーメン』『財閥を築いた男たち』『徳川三代記』（ポプラ社）、『日本武術・武道大事典』（編 / 勉誠出版）等がある。また、企画・構成・監修を手がける『コミック版 日本の歴史』（ポプラ社）シリーズは、50巻で累計200万部を突破している。



開催概要

- 日時：2017年5月26日（金）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。